

# 令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25021

学校名：西岡北小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析	
体力・運動能力 <男子>	<p><b>全国平均を上回った、もしくは、同程度の種目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上体起こし</li> <li>・ソフトボール</li> <li>・長座体前屈</li> <li>・20mシャトルラン</li> </ul>	<p><b>全国平均を下回った種目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・握力</li> <li>・反復横跳び</li> <li>・50m走</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動することに対し「大事なこと」と考えてはいるものの体育の授業において自分なりのめあてや目標を意識して学習に臨んでいる子は少ない。</li> </ul>
体力・運動能力 <女子>	<p><b>全国平均を上回った、もしくは、同程度の種目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反復横跳び</li> </ul>	<p><b>全国平均を下回った種目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・握力</li> <li>・50m走</li> <li>・ソフトボール投げ</li> <li>・長座体前屈</li> <li>・20m シャトルラン</li> <li>・上体起こし</li> <li>・立ち幅跳び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このことは、学習後の振り返りの際に、「できた・分かった」等の自らの成果を子どもが認識できていない状況にも結び付いている。</li> </ul>
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツをすることを大切と考えつつ（男子 75.8% 女子 68.8%）も、運動やスポーツが好きと回答した子どもの割合は、この回答より下がる。（男子 69.7% 女子 38.9%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業を除く1週間の総運動時間に関して、全て全国平均を下回り、休日に至っては全国平均に比較してその割合が特に低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさを実感できるよう体育の授業の工夫を図っているが、運動を好むとともに、自分の伸びや課題を意識して臨める子どもの姿勢を育む必要がある。</li> </ul>

<b>三つの取組</b>	<b>①体育・保健体育等の授業の充実</b>	<b>②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組</b>	<b>③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実</b>
--------------	------------------------	------------------------------	------------------------------

<b>具体的な取組</b>	<p><b>「課題探究的な学習」の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが運動の楽しさに触れられる「課題探究的な学習」を推進し、子どもたち一人一人が目標をもちながら、かつ、見通しをもって取り組むことができるよう授業を構築していく。</li> </ul> <p><b>児童の安心・安全に配慮した学習の推進</b></p> <p><b>ICT(1人1台端末)を活用した学習活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的視点をもつ手立てとして活用し、自ら課題を発見しやすくしていく。</li> <li>・技能向上のポイント等を学ぶことのできる動画コンテンツの視聴を活用する。</li> </ul>	<p><b>運動への意欲促進を図る取組・活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なわとび活動を推進する。チャレンジカードを活用し、学年や子どもの実態に応じつつ、記録や様々な跳び方に挑戦させていく。「成果発表会」開催による出場者の技能の成果を披露する場を設け、見る側とともに意欲の向上を図る。</li> </ul> <p><b>三間（仲間、時間、空間）の創出による運動機会の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間における、各階設置のジャンピングボードの活用や外遊びを推奨しながら、教師と子どもと一緒に運動する、子ども同士が運動を通じて高め合うことを促し、更なる習慣化を進める。</li> </ul>	<p><b>各教科等の内容を関連付けた健康教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康三原則を中心とし、心身の健康的な保持増進と望ましい生活習慣の確立を図る。</li> <li>・命の学習に関して、指導内容や実施時期等を見直しながら実施する。（※性的マイノリティの児童に配慮した指導、命の安全教育について、養護教諭と連携し授業実践を図る。）</li> </ul> <p><b>外部講師の活用など家庭・地域との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平岸高台小学校栄養教諭と連携して専門性を生かした食に関する指導の充実を図る。</li> <li>・歯科保健指導の実施等、外部講師を招く機会を設け、生活場面に生きる健康に関する指導の充実を図る。</li> </ul>
---------------	--	--	--

**家庭・地域との連携・協働**

- スポーツインストラクター（アスリート先生・タグラグビー講師）等による出前授業を依頼し、運動への意欲・関心、技術の向上に活用する。
- 子どもの運動習慣の充実を図る目的で、保健便り等を通じて運動の習慣づくりや大切さ、健康保持に関わる指導を家庭・地域にも周知し、協力を得る。